

京林大だより

No.78



令和6年度 卒業研究発表会

卒業論文

「卒業研究発表会」

卒業論文

2月14日(金)、わち林業センターにおいて、2年生が2年間の学びの集大成として9つの研究課題について発表しました。今年、学生が見出した研究のテーマは、木の葉を使ったお香や町の広葉樹の循環利用に関するものなど、一風変わったものが多かったですが、当日は来場者からの質問・感想に伴う意見交換もあって、大いに盛り上がりました。



【樹木カルタ(子ども向)】



【アベマキの椅子】
(町内広葉樹循環利用の取組)



【樹木の葉を使ったお香】

今回の研究の中で特に素晴らしかったのが「見て触って、遊んで学ぶ樹木カルタ」。町内・府内の樹木47種類を樹皮がきれいに見えるよう加工し、大人から子どもまで、また専門家から一般の方まで試して遊んでもらい仕上げた論文です。学生の作った樹木カルタは「これ商品化できるんじゃないの」という御意見もいただけるようなものでした。

発表した全ての研究は、今年も様々な事業体に協力いただき完成しました。卒業する学生たちの糧になると思います。協力いただいた皆様ありがとうございました。

祝

第12期生卒業おめでとう



3月11日(火)に第12期生の卒業式が挙行政され、10名が巣立っていきました。多くの関係者の皆様からご支援を賜り、無事に卒業を迎えることができました。

今年は、10名のうち5名が京都府内で就職することになりました。府外で頑張ってくれる卒業生も含めて、今後、林業・木材産業の分野で大いに活躍してくれることを期待しております。

なによりも元気でいてほしいですね。皆様、温かく見守っててください。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



インターンシップ (職業体験)

今年も府内6つの森林組合にお世話になり、1年生（第13期生）12名が、インターンシップ研修を受講しました。

研修期間は3月3日(月)から3月7日(金)まで（5日間）、学生がこれまで講義や実習で学んだことを現場で試す良い機会となりました。

研修先の皆様には、できるだけ多くの業務が体験できるように日程を組んでいただいたり、作業方法について丁寧に御指導・御助言いただいたりと大変お世話になりました。

今後学生たちが、この研修で得た経験を踏まえ、さらなる実力をつけて就業できるよう引き続き取り組んで参ります。



今月の授業参観

『高性能林業機械操作士』1名合格!

高性能林業機械操作士は林業専攻の学生が取得可能な京都府独自の資格です。チェーンソー・スイングヤーダ・ハーベスタ・フォワーダ4種の林業機械操作試験と筆記試験の両方の試験点数が、基準を超えた受験者に資格が与えられます。

今年度の資格試験合格者は1名となりました。

杉村 響君

合格おめでとうございます。この難関な試験を見事突破した学生を含め、卒業生全員が林業技術者として現場で活躍することを期待しています。

『森林公共政策士』2名合格!

森林公共政策士は、森林公共人材専攻の学生が取得可能な京都府独自の資格です。

今年度は、京丹波町から「京丹波町の森林資源の循環利用に向けた取組の提案」というテーマをいただき、広葉樹の循環利用を目指して川上から川下をつなぐサプライチェーンの構築を提案しました。

また、卒業論文審査会を経た結果、今年度の資格認定者は以下の2名となりました。

奥田 成拓君、山口 真奈さん

合格おめでとうございます。就業後、様々な地域課題の解決に向けて活躍を期待しています。



校長室より

校長 大下 起代

今年度は、卒業式の後、校内で記念植樹を行うことにしました。樹種は、「ロウバイが良い!」と、迷うことなく決めました。

まだ寒さが厳しい時期に、ほんのりと香る甘い香り、ロウ細工のような独特の光沢と透明感を持つ花びらと次に咲く準備をしているまん丸の蕾、澄んだ冬の青空に黄色がよく映えます。道端で初めてロウバイの花を見て知った時に感じた可愛さがあまりに衝撃的で、同時に物凄く縁深く感じました。今回、卒業記念として植えることになり、初めてロウバイを見た時の情景を鮮明に思い出しながら、やはり縁があったと感じています。

ロウバイの花言葉は、恥ずかしながら後から知ったのですが、うつむき加減に咲く花の様子から「慈愛」、「奥ゆかしさ」、厳しい冬でもいち早く開花することから、「先導」、「先進」です。

また、ロウバイは、「蠟梅」と表し、香りも梅に似ているので、バラ科と思いきやロウバイ科に属しており、同科の木は10種類もないようで、分類学的には少数派で「個性的」なのです。

このように、ロウバイには、卒業生へ贈りたいメッセージの要素がしっかりと詰まっています。

「慈愛」、「奥ゆかしさ」、「先導」、「先進」、「個性的」。卒業生たちには、この2年間に林業大学校で学んだことを糧とし、これまでお世話になったご家族の方々を始め諸先生方や地元京丹波町の皆さま方から頂いたお力添えや温かい気持ちを心に留め、これからも周囲の方々への深い愛情や思いやりの気持ちを忘れず、自分を大切にし個性を輝かせ、新たなことにも失敗を恐れずチャレンジしながら元気に力強く、山や森林をベースに活躍して行って欲しいです。

卒業生たちと大学で一緒に過ごせたこと、私にとっても尊い財産です。第12期生、ありがとう!